

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

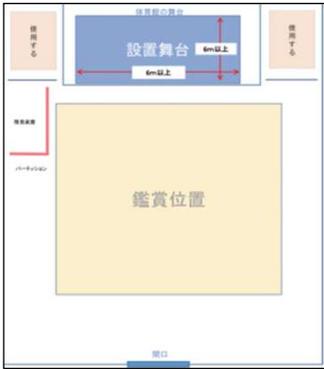
ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん うめわかかい		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人 梅若会		<a href="https://umewaka.org/">https://umewaka.org/</a>
代表者職・氏名	代表理事 梅若 善政		
制作団体所在地	〒 164-0003	最寄り駅(バス停)	JR東中野駅
	東京都中野区東中野2-6-14		
電話番号	03-3363-7748		
ふりがな 公演団体名	こうえきざいだんほうじん うめわかかい		団体ウェブサイトURL
	公益財団法人 梅若会		<a href="https://umewaka.org/">https://umewaka.org/</a>
代表者職・氏名	代表理事 梅若 善政		
公演団体所在地	〒 164-0003	最寄り駅(バス停)	JR東中野駅
	東京都中野区東中野2-6-14		
制作団体 設立年月	1961年10月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:梅若善政(芸名 桜雪) 常務理事:梅若靖記(芸名 長左衛門) 監事:宮内威 理事 10名 評議員 10名	団体構成員:個人(能楽師):正会員27名・準会員22名 主な構成員:梅若善政(芸名 桜雪) 加入条件:能楽の所定の免状取得および代表理事の承認	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	事務局長 山本 祥一
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	事務局長 山本 祥一
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	umewakakai.piif@gmail.com		

<p><b>制作団体沿革・ 主な受賞歴</b></p>	<p>1. 歴史:猿楽の発祥の地とも言われている丹波地方において、平安時代の末期より鎌倉時代の初期に職業的猿楽師の団体があり、その中で丹波猿楽梅若の名が文献に出てきたのは、応永23年(1416年)3月9日の条に【仙洞に猿楽あり梅若仕る】と看聞御記に初めて出てきます。梅若家の系譜は奈良朝の橘諸兄に始まり、現梅若家当主四世梅若実(本名:善政)は橘諸兄から計算すると五十六代となります。四世梅若実の曾祖父である初代梅若実(1828～1909)は、明治維新で幕府や大名家の保護を失った能の再興に尽力し、現在の能楽界の礎を築きました。昭和36年、五十五世梅若六郎が現在の中野区東中野に我が国唯一の能楽教習の場として梅若能楽学院を開校、同時に財団法人の設立をしました。設立当初より自主公演の定期開催と国内外の能楽公演等を中心に能楽普及振興のため精力的に活動しています。</p> <p>2. 設立目的:当法人は、我が国固有の伝統芸能である能楽の普及振興及び人材育成を図るため、能楽の公演及び伎芸の伝承・継承と法人が所有する能舞台(梅若能楽学院会館)の貸与を広く一般へ行い、もって我が国芸術文化の向上発展に寄与することを目的としています。</p> <p>3. 略歴:昭和36年(1961年)8月5日梅若能楽学院会館竣工披露能開催・同年8月6日梅若能楽学院開校式、初代校長岩倉具栄・同年10月25日財団法人認可・平成26年(2014年)4月公益財団法人移行認定</p>			
<p><b>学校等における 公演実績</b></p>	<p>1. 能・狂言鑑賞会:昭和58年より毎年継続して行われている高校生対象のレクチャー、能狂言の鑑賞会。福岡県下の4校に令和6年5月に実施。なお令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)で計画している「能 船弁慶」は2008年、2009年に延べ13校に実施した経験があります。</p> <p>2. 令和3年度:文化芸術による子供育成総合事業 狂言「柿山伏」・能「殺生石」上演 ・福島県会津美里町立宮川小学校・福島県伊達市立伊達東小学校・福島県二本松市立油井小学校・埼玉県蕨市立第二中学校・栃木県立佐野高等学校附属中学校・埼玉県加須市立大利根中学校(2回公演)・栃木県那須塩原市立箒根中学校・埼玉県朝霞市立朝霞第四小学校・埼玉県幸手市立行幸小学校・福島県田村市立船引中学校・福島県いわき市立汐見が丘小学校・福島県伊達市立伊達東小学校 以上12校</p> <p>3. 令和2年度:文化芸術による子供の育成事業において狂言「柿山伏」・能「殺生石」上演(新型コロナウイルス感染症の影響により1校のみ開催) ・神奈川県大和市立下福田中学校</p> <p>4. 学生能楽鑑賞会:福岡県下の4～5校に実施。(昭和58年より毎年継続して行われている高校生対象のレクチャー、鑑賞会)・海外留学生のための能体験英語ワークショップ・子供のための伝統文化体験事業実施。・中野区の小学校や中学校におけるワークショップ等多数</p>			
<p><b>特別支援学校等における公演実績</b></p>	<p>特にありませんが特別養護老人ホームの訪問はあります。</p>			
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://dtbn.jp/JB2s098e">https://dtbn.jp/JB2s098e</a></p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

別添	なし			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 公益財団法人 梅若会 】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	能楽マスターになろう-能楽にみる多様な表現と創造力-			
企画のねらい	主役であるシテ方の視点で、見えないものを想像するきっかけを様々な角度から参加者に伝え、能楽鑑賞をより豊かな経験にすることを目指します。 主に、シテ方、ワキ方の謡と舞や、装束や面、お囃子の音とのかかわり、狂言の言葉とリズムがどのような役割を担い、舞台を構成し、観客の想像力を創り上げるかをワークショップと本公演を通して学んでいきます。			
演目概要・演目選択理由	<p>■能「船弁慶」 作者：観世小次郎信光 典拠：平家物語 演目概要) 平家追討に功績をあげた源義経でしたが、頼朝に疑惑を持たれ、鎌倉方から追われる身となります。義経は、弁慶や忠実な従者とともに西国へ逃れようと、摂津の国大物の浦へ到着します。義経の愛妾、静(しずか)も一行に伴って同道していましたが、女の身で困難な道のりをこれ以上進むことは難しく、弁慶の進言もあって、都に戻るようになりました。別れの宴の席で、静は舞を舞い、義経の未来を祈り、再会を願いながら、涙にくれて義経を見送ります。 静との別れを惜しみ、出発をためらう義経に、弁慶は強引に船出を命じます。すると、船が海上に出るや否や、突然暴風に見舞われ、波の上に、壇ノ浦で滅亡した平家一門の亡霊が姿を現しました。なかでも総大将であった平知盛(とももり)の怨霊は、是が非でも義経を海底に沈めようと、薙刀を振りかざして襲いかかります。弁慶は、数珠をもみ、必死に五大尊明王に祈ります。その祈りの力によって、明け方に怨霊は調伏されて彼方の沖に消え、白波ばかりが残りました。</p> <p>演目選択理由) 平家物語を題材として、歴史の教科書にも取り上げられる源義経、武蔵坊弁慶といった歴史的有名な人物が登場します。能「船弁慶」は、静と動の両面を体験することが出来る演目です。前半では登場人物の心情を静けさをもって表現し、後半では長刀を振るう怨霊・平家の武将平知盛と、義経、武蔵坊弁慶の激しい戦いがスピード感をもって表現されます。今回は巡回公演用に前半を短めにし、飽きの来ないテンポで舞台を進行させます。 また、能楽師(シテ方、ワキ方、狂言方、囃子方)の多様な表現方法を知る事が出来ます。過去NHKで放映された「日本語であそぼう」では能「船弁慶」の間狂言が選ばれ狂言と囃子の写実的な表現がとりあげられていました。そして、小学校向けのワークショップなどでも長刀を使用した仕舞「船弁慶」は子どもたちから人気の演目です。 美しさ、面白さ、激しさ等、そして情景描写の写実性など、能の面白さをつめこんだ作品と考え、この演目を選定しました。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能と狂言の違いって何? : 「泣く」や「笑う」などの表現方法の違いや、能楽の型を体験してみよう(全員体験)</li> <li>・能面・能装束の紹介と体験(代表者体験) : 先生に能面・能装束を着けてみよう! ・代表の児童・生徒が能面を体験</li> <li>・「能」を体験してみよう! (全員体験) : 「摺り足」ってどうやってするの? ・「舞」を舞ってみよう!</li> </ul>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	体験代表者: 2名程度	
		鑑賞人数目安	会場の鑑賞可能人数まで	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1. ごあいさつ[5分] ・本公演の流れの説明 ・能「船弁慶」のあらすじ説明</p> <p>2. 狂言の表現方法について[10分] ・教科書に掲載されている「柿山伏」の代表的な所作を体験してみる ・船弁慶の間狂言の見どころを紹介</p> <p>3. お囃子表現方法について[10分] ・各楽器の実演と体験(実際の楽器体験者は数名、後はエア楽器と一緒に挑戦) &lt;休憩10分&gt;</p> <p>4. 能「船弁慶」を鑑賞しよう! [55分]</p> <p>5. 能楽師への質問[10分]</p> <p>6. ごあいさつ</p> <p style="text-align: right;">公演時間 100 分</p>			
出演者	<p>シテ方: 梅若長左衛門・梅若 紀彰・松山 隆雄・山崎 正道・小田切康陽・角当 直隆・山中 迺晶・松山 隆之 川口 晃平・内藤 幸雄・伶以野陽子・小田切亮磨・山崎 友正・鷹尾 雄紀・梅若 景英(公演期間によりこのうち13名選定) 狂言方: 山本東次郎家 2名 ワキ方: 3名 囃子方: 4名</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>梅若長左衛門、梅若 紀彰(いずれも重要無形文化財総合認定保持者) 総合監修は梅若実桜雪(重要無形文化財各認定(人間国宝)保持) 公演の出演者は梅若実桜雪に指導を受けた当法人所属の能楽師で構成されている。また経験豊富な狂言方、囃子方、いずれも能楽の伎芸が高度なレベルに達した者と若手で固める。</p>			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	<p>出演者: 22 名</p> <p>スタッフ: 3 名</p> <p>合計: 25 名</p>	運搬	<p>積載量: 0.35 t</p> <p>車長: 3 m</p> <p>台数: 1 台</p>	

<b>本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安</b>	<b>前日仕込み</b>	無	<b>前日仕込み所要時間</b>		時間程度	
	<b>到着</b>	<b>仕込み</b>	<b>上演</b>	<b>内休憩</b>	<b>撤去</b>	<b>退出</b>
	9:30	9:30～11:00	13:30～15:10	10分	15:10～16:30	16時30分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						
<b>本公演 実施可能日数目安</b>  <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認 します。(大幅な変更は認 められません)</small>	6月	7月	8月	9月		
	15日	15日	15日	15日		
	10月	11月	12月	1月		
	15日	15日	15日	15日		
<b>※平日の実施可能日数目安をご記載ください。</b>			<b>計</b>	<b>120日</b>		

<b>公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真)</b>  <b>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</b>		<p>学校の体育館等のサイズにより、鑑賞用の舞台づくりは2パターン考えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 舞台下に能舞台を制作</li> <li>2. 舞台上に能舞台に近い空間を制作</li> </ol> <p>鑑賞席は下記の図にあるように、体育館に席を並べるか、または、体育館に直接座る形となる。</p> <p>座席がない場合、その空間を自由に分けて、子供たちを指導できるメリットがある。</p> <p>舞台上での公演の場合は、どの位置からも見やすいという利点がある。</p> <p>泣く、笑うなどの表現はその場でできる体験は全体で行い、楽器等は代表生徒による体験となる。</p> <p>代表生徒による体験の最中も、着席している子供たちが飽きないように声掛けや、座席で出来る日本のリズムの体験などを行っていく。</p>	
			
			
			

<b>著作権、上演権利等の 許諾状況</b>	<b>各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否</b>	該当なし	<b>該当コンテンツ名</b>	
	<b>該当事項がある場合</b>	<b>権利者名</b>	<b>許諾確認状況</b>	使用(上演)許諾取付済

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 公益財団法人 梅若会 】

ワークショップのねらい	<p>ワークショップでは、能楽とはどんなものなのかを、体感してもらう事がねらいです。</p> <p>能楽は、「能」と「狂言」の2つの演劇によって成り立っています。「能」を中心に、喜怒哀楽の表現の違いをやってみせながら説明し、実際に、「泣き」「笑い」の表現を体験します。スライドを使用し、「能」と「狂言」の対照的な芸能を比較しながら学ぶことで、同じ行為がどのように異なった表現としてあらわれるかを深く理解することができます。</p> <p>体験では、代表の先生には装束と能面を、子どもたちの代表者には、能面を実際に付けてもらうことで、能面や装束を付けて演じることの難しさも実感してもらいます。日本の伝統工芸の粋が結集した能面・装束も間近でご覧いただけます。</p> <p>後半は、「構え」・「すり足」・「舞」・「謡」といった能の基本型を学び、「船弁慶」の一部の動きを体験します。その中で、能楽師の動作の難しさや面白さを体験します。本公演で「船弁慶」を見たときに「知ってる」など、自身の知識と公演が結びつく事をねらいとしています。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	会場の入場可能人数まで
ワークショップ実施形態及び内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ごあいさつ <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者紹介とワークショップの流れの説明</li> </ul> </li> <li>2. 「能楽」ってどんな芸能？(スライド) <ul style="list-style-type: none"> <li>・能楽についてレクチャー(スライド)</li> <li>・「船弁慶」のダイジェスト動画を観て能のイメージをつかもう！</li> </ul> </li> <li>3. 能と狂言の違いって何？ <ul style="list-style-type: none"> <li>・「泣く」や「笑う」などの表現方法の違いや、能楽の型を体験してみよう(全身体験)</li> </ul> </li> <li>4. 能面・能装束の紹介と体験(代表者体験) <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生に能面・能装束を着けてみよう！</li> <li>・代表の児童・生徒が能面を体験</li> </ul> <p style="text-align: center;">＜休憩＞(10分)</p> <p>※能面を飾ります。 休憩時間等を利用し、児童・生徒が間近で能面を見る事ができるようにします。</p> </li> <li>5. 「能」を体験してみよう！(全身体験) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「摺り足」ってどうやってするの？</li> <li>・「舞」を舞ってみよう！</li> </ul> </li> <li>6. 能楽師への質問</li> <li>7. ごあいさつ</li> </ol> <p style="text-align: center;">*所要時間90分(45分×2コマ・休憩10分) 基本上記の流れですが、学校側のご要望(参加学年・所要時間等)に可能な限り合わせる事が可能です。</p> <p style="text-align: right;">所要時間100分(途中休憩10分含む)</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>プロジェクターの映像を見ながらわかりやすく解説するため、スクリーンの借用をお願いします。 マイク2本、長机2台をご用意いただけると幸いです。 スライドが投影できるか当日までわからないため、念のため事前にデータをお送りさせていただければと思います。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 公益財団法人 梅若会】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>公益財団法人梅若会は、能の普及と育成を目的とした団体です。梅若会の代表理事である梅若実桜雪は人間国宝、芸術院会員でもありその師匠から稽古をうけた能楽師がその教えをもとにワークショップや公演を通じて能楽の普及活動を数多く執り行ってきました。</p> <p>子供たちは、伝統文化に接する機会がない事が現状です。ですが、実際に見る事でその躍動感を体験することが出来ます。過去の学校のワークショップで、子供たちが体験すれば、興味を持ってくれること、そしてその様子に先生方が触発されて能や日本文化に興味をもっていただけることを経験しました。もっと多くの子供や、接する大人の方々に能楽を生で見て感じる機会を提供し、現代の感性でも楽しめる演劇であることを知ってほしいと感じたことが応募理由です。</p> <p>①本事業に対する取り組み姿勢 子供たちが「本物」を感じる時間としたいと考えています。 動画などでは感じられない息遣いや空気感、そして何より舞台をみた後のワクワクした気持ちを持ってもらえるようにワークショップの構成を考え取り組んでいきます。 令和2年から令和6年にかけて子供のための伝統文化体験事業で、子供たちの想像力をひきだすプログラムを展開してきました。 座学と体験の両面をいかした授業プログラムを開発した経験をいかし、目に見える与えられた情報だけを楽しむのではなく、与えられていない情報を想像して、自らのイメージを創っていく作業の面白さを感じてもらいたいと考えています。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 1. 可能な限り、学校側の要望を第一に考え、ワークショップ、本公演の予定、内容等を考え計画しています。 具体的には参加学年をご希望の学年に限定したり、ワークショップ、本公演ともに公演時間の短縮も可能にするために、45分で完結するように単元をわけ、組み合わせによって様々なワークショップが可能なように作っています。 2. 事務局の体制はコロナ禍以前よりテレワークを導入しており、職員が事務局不在の場合でも電話、メール等の連絡が可能となっています。そのため緊急対応が必要な場合でも時間帯を問わず対応可能となっています。 3. 事務局と当法人の事業担当者との連絡は日常から電話、メール、ファクス等にてスムーズに行っており、すべての情報を事務局に集中し、学校をはじめ関連各所、出演者等への連絡はすべて事務局から発信しています。 4. 準備段階より定期的に調整会議を行い、計画に齟齬のないよう努める体制をとっています。</p>
----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------